

平成28年第2回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成28年第2回定例会一般質問通告順

日付	順番	議員名	会派名
6 月 7 日	1	中村 彰男	自由民主党
	2	森田 洋一	新風流山
	3	野田 宏規	流政会
	4	坂巻 儀一	流政会
	5	加藤 啓子	自由民主党
	6	笠原 久恵	流政会
6 月 8 日	7	野村 誠	公明党
	8	西尾 段	新風流山
	9	藤井 俊行	新風流山
	10	近藤 美保	流政会
	11	斉藤 真理	公明党
6 月 9 日	12	秋間 高義	公明党
	13	戸辺 滋	公明党
	14	楠山 栄子	新風流山
	15	森 亮二	流政会
	16	徳増 記代子	日本共産党
6 月 10 日	17	植田 和子	日本共産党
	18	乾 紳一郎	日本共産党
	19	阿部 治正	
	20	石原 修治	流政会
	21	小田桐 仙	日本共産党

質問事項	要 旨
<p>1 (仮称)三郷流山橋完成後における市民生活への影響・ビジョンについて</p>	<p>(1) 新橋の完成による、交通量の増加に伴う排気ガスの増大による近隣住宅地への影響及び安全確保策等について問う。</p> <p>(2) 江戸川流域における商圈において複数の店舗による競合が予想されるが、埼玉県側の大型商業施設への買物人口流出防止対策及び本市への消費呼び込み対策について問う。</p> <p>(3) 防災や医療等について、新橋の利便性を活用した従来とは異なる広域的な協力体制を構築する必要があると考えるが、埼玉県内近隣自治体との協議は行われているのか。</p> <p>(4) 新橋完成後に現在供用している流山橋の将来について問う。</p>
<p>2 将来の市民人口の推移と政策展開について</p>	<p>(1) 市が策定した下期実施計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略の将来人口推計では、宅鉄法によるT×沿線土地区画整理の推進と合わせて、ハード面の整備や様々な施策により平成37年までは人口増加が見込まれるが、その後は人口減少することを予想している。人口増加から人口減少に転じた時の市の政策展開はどのように図っていくのか。</p>
<p>3 文化・伝統の継承について</p>	<p>(1) 流山市の文化・伝統等は先人から脈々と受け継ぎ活動しながら継承しているが、高齢化等により衰退が危惧されている。後継者の確保を含めた今後の継承対策について問う。</p>
<p>4 「魅力ある流山市」を表現する商材の開発について</p>	<p>(1) 流山市に観光や帰省、あるいは在住の方々がお土産等で用いる従来の名産品に加え、新たに特徴のある物産等を開発し振興を図る考えはあるのか。</p>

質問事項	要 旨
1 シティホテルの誘致について問う	<p>(1) 現在、流山おおたかの森駅前市有地を活用して民間事業者によるシティホテル建設の誘致が進められている。現在、地元企業や公共施設利用者をはじめどのような顧客を想定しているのか。また、地元雇用についてはどのように考えているのか、ホテル建設の効果について当局に問う。</p>
2 フィルムコミッションの展開と効果検証について問う	<p>(1) 先般の千葉日報で、すみ市のフィルムコミッションについての経済効果が紹介されていた。本市のフィルムコミッション事業についても、昨年11月16日付け日本経済新聞において全国フィルムコミッション撮影数ランキングで全国第6位と報道され、積極的な事業を展開していると認識している。フィルムコミッションによるロケ地誘致は、本市の魅力を市外にPRする有効な手法と考えられるが、当局はどのように認識してフィルムコミッション事業を実施していくのか。</p> <p>(2) フィルムコミッションによるロケ地誘致は、シビックプライドのような市内在住者の満足度向上と、ツーリズム推進にみられる交流人口の増加の双方に貢献するように施策を展開していくことが重要と考える。本市の魅力や良好なイメージが前面にでるような作品のロケを誘致できるよう積極的に、映画等製作会社へ売り込みをかけるべきと考えるがどうか。</p>
3 観光施策の推進について問う	<p>(1) 本年4月より、流山本町・利根運河ツーリズム推進拠点設置され、これまでの室よりも課としての役割が期待されている。観光施策についての実績をどのように総括して、今後の事業展開につなげていくと考えているのか、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 今後は、シティホテルの建設、フィルムコミッションによるロケ地誘致と観光施策が密接に関連してくると考えるが、各部門との連携共有や各事業の展開についてはどのように考えているのか、当局の見解を問う。</p>
4 上下水道事業の諸課題について問う	<p>(1) 先般、流山市水道事業経営戦略が策定された。これは、近い将来における設備投資、水需要、経営分析などを予測した内容である。その中で、人口増による給水申込納付金が内部留保として財務体質強化に貢献していることが示されている。しかし、近い将来の人口減少を考慮すると、給水申込納付金の増加はここ数年でピークを迎え、給水量も年々減少傾向にあり、今後、設備等の更新のために内部留保の取り崩しというリスクが内在すると考えられる。このリスクの回避策について、当局に問う。</p> <p>(2) 下水道事業は下水道使用料収入源であり、現在は一般会計からの繰入金と上水道事業会計からの借入れ等によって事業の運営をしている。企業費残高も貸借対照表上、負債として計上されている。今後、下水道事業が独立採算性を確保していくには、まず企業費残高を減らすことが重要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 水道事業全体の民営化を法律の側面から考えた場合、地方公営企業法と水道法上、上水道事業は完全民営化が可能、下水道事業は下水道法上、地方自治体の責任が定められているため、自治体としての責任が残るといった解釈が一般的である。あくまで法律上の解釈として、本市もこの解釈をしているのか問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市のホームページについて</p>	<p>(1) ホームページ内のリンクの掲載に関して、以下のとおり問う。</p> <p>ア 利便性の向上のため、病院や幼稚園、保育園のような公共施設等の名称が掲載されるたびに、そのホームページへのリンクを掲載するようにしてはどうか。</p> <p>イ 文章をよりわかりやすくするため、用語等を解説するテキストを作り、各文章の文中にそのテキストへのリンクを掲載してはどうか。</p> <p>(2) 各部課で所管する地理情報を重ね合わせた統合型GISを導入した上で、ホームページでその情報の一部を提供するシステムを構築してはどうか。</p> <p>(3) 種々の外国語を母語とする利用者のため、英語以外の言語にも対応させてはどうか。</p> <p>(4) 現在、「こんな時、こんな手続き」等の総合的なページでは、関連するページへのリンクがただ羅列されているが、各手続きを統一的に、分類、系統化して、わかりやすく掲載してはどうか。</p>
<p>2 外国人誘致促進について</p>	<p>(1) 本年度の外国人誘致促進事業は、モニターツアーを実施し、今後の施策を検討するものと考えているが、誘致の対象は、主に、どのような属性の外国人か。</p> <p>(2) 外国人の市内までの導線をどう捉え、公共交通とその施設を整備していくのか。</p> <p>(3) 外国人の宿泊先をどう捉え、市内の施設を整備していくのか。</p> <p>(4) 外国人の誘致に関して、一定の期間を設けて目標としている数値や事業はあるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 北部地域の交通安全対策について</p>	<p>(1) 都市計画道路3・5・22号、東深井市野谷線の整備について以下2点問う。</p> <p>ア これまでの答弁では流山警察署など関係機関との協議により交通状況を把握、精査し、整備を進めていくとあったが、速度規制標識等の整備はどのように進められているのか。</p> <p>イ 当該道路の通る東深井地域ではこの一年間でも交通事故が多発しているが、当局では事故現場の把握及び道路状況と交通事故との関連について警察と共に検証されたのか。またそれらを教訓に安全対策をどのように講じていくのか。</p> <p>(2) 市道118号線の朝夕の渋滞時には、抜け道として市道110号線、利根運河堤防天端道路、更には東深井及び西深井地域の細い生活道路までもが利用されている。そこで以下2点について問う。</p> <p>ア 市道110号線、利根運河堤防天端道路における速度超過をはじめとする車両の通行状況及び安全対策への認識について問う。</p> <p>イ 児童の登下校時に通学路へ進入する車両の危険性及び安全対策への認識について問う。</p>
<p>2 本市の災害対策について</p>	<p>(1) 本年4月に発生した熊本地震では、過去に例を見ない大地震の連鎖、更には長期間の余震という想定外の要因で被害が拡大したものと考えられる。そこでいくつか見えてきた課題について以下3点、当局の見解を問う。</p> <p>ア 東日本大震災後に本市が行ったように、この度の熊本地震の教訓を生かし、自主防災組織としての各自治会の取り組み方などを含む、本市の地域防災計画全体の検証や見直しについて当局はどのように考えているのか。</p> <p>イ 災害用井戸並びに災害時協力井戸の現況はどのようになっているのか。</p> <p>ウ 自助・共助の意識を高めるためには、まず、身近にある避難所や防災備蓄倉庫などの場所や利用方法を日頃から地元の人々に知っていただく必要がある。そこで、行政と自治会が協力し、防災対策について実際に歩いて学習する「(仮称)まちあるき会」などを開催してはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の学童保育の課題について</p>	<p>(1)「母になるなら、流山市。」のキャッチコピーで流山市に共働き世代を誘致しているが、保育所待機児童の問題にとどまらず、学童保育においても待機児童を出さないために定員以上を受け入れていると仄聞している。まちづくりを計画的に行わなかった結果、子どもたちへのしわ寄せが生じているので早急な対策が必要と考える。ついては学童保育の現状について以下を問う。</p> <p>ア 市内の学童クラブにおいて定員以上の受け入れをしている施設はどのくらいあり、その受け入れ児童数はそれぞれどの程度超過しているのか。</p> <p>イ 障がいを抱えている児童の学童保育を受け入れている施設は何箇所あり、何人の受け入れがされているのか。また障がいを抱えている児童のみの学童保育施設は市内に何箇所あり定員は何人で現状の利用状況はどうか。</p> <p>ウ 学童保育の担当が子ども家庭部から教育委員会に所管変更となったが変更となった目的は何か。また、その目的に向けてどのように動いているのか。</p>
<p>2 流山市の運動会種目の決定について</p>	<p>(1)平成28年第1回定例会時に教育委員会から運動会の種目から組体操を全面廃止するというマスコミの記事は当面中止の誤りであるという説明がなされた。その決定経緯と今後の対応について問う。</p> <p>ア 報道では全面廃止という記事が流れているが、議会への説明では当面中止ということであった。今後はどうしていくつもりであるのか。</p> <p>イ 組体操の中止は校長会での決定であると説明があったが、校長会ではどのような審議がなされ、当面中止の決定に至ったのか。</p>
<p>3 入学準備金貸付制度について</p>	<p>(1)入学準備金貸付制度は平成22年度の事業仕分けで仕分けの対象になった9事業の一つである。入学準備金貸付制度は現在も継続しているが、市民からは使いにくいという声が寄せられている。以下当局の見解を問う。</p> <p>ア 過去3年間における単年度ごとの申請件数及び貸付金額等について</p> <p>イ 本制度を利用しにくいという声があるが、その理由を把握しているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市役所職員のメンタルヘルス対策について</p>	<p>(1) 平成27年12月1日に厚生労働省による労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」が、義務付けされた。そこで、本市の対応について問う。</p> <p>ア 流山市独自でのメンタルヘルス対策を平成18年度から行っているが、これまでの分析結果を見て、近隣市と比較してどのような傾向になっているのか。</p> <p>イ 「ストレスチェック制度」が施行されたことにより、本市のメンタルヘルス対策はどのような変更点があったのか。</p> <p>(2) 厚生労働省による無料の電話相談窓口「こころほっとライン」が平成27年9月より開設しているが、職員へ周知しているのか。</p>
<p>2 流山市の介護保険事業者による介護従事者の人材確保対策について</p>	<p>(1) 介護保険事業者の介護従事者の人材確保については、平成26年第4回定例会の一般質問で第6期高齢者支援計画に人材確保の項目を設けると答弁があった。現状と事業者の声はどのように捉えているのか。</p>
<p>3 外国人旅行者による市内の宿泊について</p>	<p>(1) 本市の住宅街で短期宿泊をする多数の外国人旅行者がいると仄聞している。そこで、以下問う。</p> <p>ア 外国人旅行者によるごみの分別や騒音問題が発生している現状を把握しているのか。</p> <p>イ 国が推進している民泊に関する本市の担当課はどこか。今後、外国人旅行者の増加も予想され、民泊の提供者も増えると考えられるが、地域コミュニティとの連携を含めどのように対応していくのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 本市の防災対策について</p>	<p>(1) 先に発生した平成28年熊本地震では、福祉避難所に指定されていたにもかかわらず一部の施設でしか受け入れられなかった実態がある。そこで今回の震災を教訓として、こうした施設が広く市民に周知され、真に機能する体制整備が大切であると思う観点から以下のとおり問う。</p> <p>ア 福祉避難所の設置について、本市では大規模災害時に福祉避難所として使用させて頂くよう協定を締結している民間福祉施設が市内に9か所あるが、福祉避難所に避難できる方の基準について問う。また福祉避難所の収容人数はどのくらいを想定しているのか。</p> <p>イ 福祉避難所の運営マニュアルは現在作成してないと仄聞しているが、福祉避難所における要援護者の安心・安全を確保する為にも福祉避難所運営マニュアルを策定すべきと思うがどうか。</p> <p>ウ 福祉避難所での支援者の確保についてはどのように考えているのか。</p> <p>(2) 災害廃棄物処理計画の策定について、国・県の災害廃棄物処理マニュアル策定ガイドラインに基づき災害廃棄物処理計画を策定すべきと思うがどうか。</p>
<p>2 JR南流山駅を起点としたぐりんバス路線の開設について</p>	<p>(1) JR南流山駅を起点としたぐりんバスのルートが検討されていると仄聞している。そこで開設までのスケジュール、ルート案及び、便数、バス路線の安全対策について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 本市における寄付の募集について</p>	<p>(1)流山市では目的別に寄付を受け付ける制度が用意されている。しかし現行の制度である「教育、文化及びスポーツ施設整備等基金」では、目的が広すぎて寄付する方の意思に沿った使い方にならない可能性がある。寄付する方の意思に沿った使い方ができれば寄付金が更に集まりやすくなると考えている。そこで使用目的を「野球場整備」など具体的に絞って寄付を募り、管理することはできないか。</p> <p>(2)今後計画する事業や、市民からの要望が多い案件においては、ふるさと納税を利用して積極的に市内外から寄付を募ってはどうか。</p>
<p>2 市内公立小中学校の運動会における組体操の実施について</p>	<p>(1) 本年 2 月、流山市が全国で初めて、組体操全面廃止決定と新聞等で報道された。その記事を見た市民や小中学生の保護者は新聞記事の内容が本市の今後の方針として受け止めている方が多い。そこで以下について問う。</p> <p>ア 組体操については全面廃止という認識でよいのか。また、在校生やご家族にはどのように説明されたのか。</p> <p>イ 教育委員会では、市内各学校に対して「組体操」への取り組みについてどのように指導したのか。また、その結果として市内の小学校で既に 5 月に開催した運動会での組体操の実施状況はどうであったのか。</p> <p>ウ 現在、組体操に代わるプログラムはどのように選択されようとしているのか。本年度開催される今後の運動会において、どのように指導されるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市民まつり開催時における、江戸川台駅からの臨時送迎バスの運行について</p>	<p>(1) 流山市民まつりの開催に伴い、東部地域の住民に対する交通手段の一つとして、東武バス株式会社が運行しているJR南柏駅と流鉄流山駅間を、通常の路線本数を増便して運行している。</p> <p>北部地域の住民に対しても、交通の利便性の向上として、江戸川台駅から市民まつり会場への臨時バスの運行が必要と考えるが、このことを、市民まつり実行委員会に提案する考えはあるか。</p>
<p>2 子どもの発達にかかわる諸課題について</p>	<p>(1) 現在、おやこ相談の予約が取りにくい状況と仄聞しているが、今後の改善策について問う。</p> <p>(2) つばさ学園は、法律に基づき児童発達支援センターになったが、療育相談室の支援は充実してきているのか現状と今後の方向性について問う。</p>
<p>3 防災対策について</p>	<p>(1) 平成28年熊本地震が発生し、多くの方たちが避難を余儀なくされ、家屋の倒壊や揺れを恐れて今もなお体育館などに被災者が避難している。</p> <p>しかし、避難者からは、避難するスペースがない。生活リズムが他の避難者と合わない。プライバシーが保てない。また、乳幼児や高齢者、ペットがいるため、「避難所では迷惑をかけてしまう」などの問題から車中泊やテントを活用した避難が行われていると報道されている。このような状況を踏まえ、本市の避難体制の現状と今後の課題について問う。</p> <p>(2) 大規模災害が発生した際は、ヘリコプターによる支援物資の運搬や救援活動など効果的な対応が図られる。都内を中心にヘリサインの導入が進んできているが、本市の避難所等への導入を考えるべきではないか。</p> <p>(3) 小学校の授業中や放課後など、児童が在校しているときに避難を要する大規模災害が発生した時の児童や学童クラブへの通所児童の避難体制について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 街の人材育成の源である地域子育て支援事業について</p>	<p>(1) 流山市は子育て世代の転入が急増しており、慣れない土地で不安で孤独な子育てに悩まれている保護者も多い。特に初めての出産は、人が育てられる側から育てる側となる激変期であり、母親の体調や子どもの育ちへのサポート、地域とのつながりをつくる政策があることが大きな支えとなる。また困難を感じた時に適切な学習機会を行政が提供することは、将来、本市を支える人材の育成という視点から重要な取り組みであり、街の活性化にもつながる。市政経営の観点から考えても投資対効果の高い事業だと思うが、特に地域に拠点がある子育て支援事業に関し、以下の点から見解を問う。</p> <p>ア 地域子育て支援センターなど地域に拠点がある子育て支援事業のそれぞれの役割をどのように考えているか。またその役割が達成できているかをどのように確認、評価をしているか。</p>
<p>2 子どもが急増している流山市において必要な学童保育の量と質の確保策について</p>	<p>(1) 都内の企業において、第一線で働く子育て世代が多い本市では、子どもが小学生になっても安心して預けられる環境整備が必要である。しかし、人口増加エリアでは子どもの急増に伴い、児童の自立性や社会性を育成するなどの事業本来の目的達成の低下が懸念されるとともに、小学4年生以上は受け入れられない等、量も足りてないという現状に危機感をおぼえる。子どもの発達段階や親の就労状況を踏まえた多様なニーズに対応できるよう、民間とも連携しながら、学童保育の量と質の確保策を検討した方が良いと思うが、以下の点から見解を問う。</p> <p>ア 流山市子ども・子育て支援総合計画の今後の計画には、民設民営型の施設整備も想定できるという記載がある。現在ある民設民営の学童保育についても、放課後児童健全育成事業の対象になるよう検討してみてはどうか。</p> <p>イ 公設民営で新設する場合と民設民営の投資対効果について研究してみてはどうか。</p> <p>ウ 流山市内の学童保育に関する需給バランスの改善を図り、待機児童の解消を促進するため、学童クラブ間や自宅までの送迎支援事業を検討してみてはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 防災対策について</p>	<p>(1) 本年4月に熊本県を震源とする最大震度7の地震が発生し、甚大な被害をもたらした。今回の地震と同等の地震が首都直下で30年以内に起こる確率は70%とされていることから、改めて、本市の防災対策について以下の点について問う。</p> <p>ア 減災の為には、万が一の事態に備えて平常時から準備することが重要であり、毎年流山市で実施している総合防災訓練においても、いざという時に活かされる訓練が必要と考える。そこで、本年8月28日に予定されている総合防災訓練における工夫点、新たな取り組みなどについて問う。</p> <p>イ 流山市では、指定避難所となっている小学校区ごとに、順次避難所運営マニュアルを作成しており、現在9校で避難所運営マニュアルが完成していると仄聞している。こういったマニュアルに沿って、障がいのある方、ペット同行避難、乳幼児のいるご家族の対応など、避難所ごとに避難所運営ゲーム「HUG」など、更に実践的な訓練を実施することが重要と考えるがどうか。また今後、そのような訓練を市が積極的に推進していくべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>ウ 流山市には現在、31か所の防災備蓄倉庫を設置している。備蓄品の種類や数のばらつきについては、以前から平準化が必要ではないかと訴えてきた。今回の平成28年熊本地震の教訓から、備蓄品の種類や数、管理体制など、市として見直しをする必要があると思うが市の見解を問う。</p> <p>エ 災害時の情報発信について船橋市では、スマートフォンのGPS機能を活用した防災ハザードマップの配信や、駅のデジタルサイネージで、災害時の緊急情報を発信できるようになっている。流山市でも導入を検討してはどうか。</p>
<p>2 つくばエクスプレス沿線の街づくりについて</p>	<p>(1) 流山おおたかの森駅北口市有地に建設予定の音響に配慮した多目的ホールに関する課題について、以下のとおり問う。</p> <p>ア 多目的ホールには、可動席を設置する計画になっているが、当該ホールの具体的な利用及び年間稼働率をどのように試算しているのか。</p> <p>イ 可動席にすることが音響効果の妨げにならないのか。</p> <p>(2) 流山市は、子育て世代の人口が急増しているが、小児科や、乳幼児向けの商品を扱う大型の専門店が少ないという声が多い。小児科の開業や、子供向け店舗の誘致予定はあるのか問う。</p> <p>(3) 流山セントラルパーク駅周辺には、キッコーマンアリーナ、大きな病院が完成し交流人口も急増すると思われるが、周辺に飲食店があまりにも少ない。飲食店や商業ビル誘致の計画はあるのか問う。</p>

質問事項	要 旨
1 読書活動の推進について	(1) 子ども読書活動推進計画の策定をすべきと考えるがどうか。
2 教育行政について	(1) 学校図書館担当職員(学校司書)の配置をすべきと考えるがどうか。
3 防災対策について	(1) 感震ブレーカーの普及推奨について ア 感震ブレーカーの普及状況をどのように把握されているのか。 イ 普及推奨には、どのように取り組まれているのか。また、今後どのように取り組まれるのか。
4 市民サービスの充実について	(1) マイナンバーカードの普及状況と流山市におけるマイナンバーカードのメリットについて (2) マイナンバーカードを利用して各種証明書等のコンビニ交付を実施すべきと考えるがどうか。
5 名都借跨線橋道路拡幅事業について	(1) 名都借跨線橋道路拡幅事業の進捗状況と今後の見通しについて問う。

質問事項	要 旨
<p>1 北部地域の街づくりについて</p>	<p>(1) ジェトロ江戸川台職員宿舎は、江戸川台駅や商店街と隣接している好立地にもかかわらず、住民が退去したままの状態が続いている。同敷地の活用は、今後の北部地域の発展に多大な影響を与えるものとする。建物及び敷地は、独立行政法人日本貿易振興機構から国へ返納されると仄聞しているが、ジェトロ江戸川台職員宿舎について当該近隣住民がどのようなニーズを持っているか把握すべきと考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 本市では流山本町・利根運河ツーリズム事業を推進し、交流人口が順調に増加傾向にある。交流人口の更なる増加のため、利用しやすい環境整備が必要と考える。そこで以下の点について問う。</p> <p>ア 来訪者のなかには帰宅の際、運河駅の入口が分かりにくい等、不便を訴える声もある。駅への案内板の設置等、来訪者の視点に立った環境整備をすべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 本年度事業である運河水辺公園トイレ整備事業について、完成後の衛生面や防犯面を懸念する声がある。衛生面や防犯対策についてどのように取り組まれるのか、当局の見解を問う。</p>
<p>2 各種納付方法について</p>	<p>(1) 本市の市民税や固定資産税等の税納付、また国民健康保険等の保険料の納付方法は、納付書により金融機関等で納付する方法と口座から自動引き落としする方法のいずれかとなっている。市民サービスの向上のため、また徴収業務の簡素化のため、他の自治体でも実施しているクレジットカードによる納付も検討すべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 食育推進施策について</p>	<p>(1) 総務省は、「食育の推進に関するアンケート調査」(平成27年)で、食育推進政策の効果と評価を発表している。この調査に照らし、当市の学校教育における食育施策について以下に問う。 ア 行政及び学校における食育指導体制について問う。 イ 食物アレルギーの児童生徒の割合とその対応策について問う。 ウ 「流山市健康づくり支援計画」の中で、食育推進に係る目標値を掲げているが、達成するための対策と効果について問う。 エ 総務省が食育推進政策の効果と評価を発表したように、流山市でも学校、保護者を対象に「食育の推進に関するアンケート調査」を実施し、食育推進施策の成果、反省点をまとめ、さらによりよい施策にしていくべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(2) 食育とは「食を通して人間として生きる力を育む」ことであり、家庭、学校、地域も含め全市的な取り組みが必要と考える。健康づくり推進員、NPO、ボランティアなど含め協働の体制づくりが必要と考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>2 地域公共交通施策について</p>	<p>(1) 東部地域のぐリーンバスは、流山セントラルパーク駅と豊四季駅をつなぐルートが検討されているが、この路線計画の進捗状況について問う。</p> <p>(2) 市民から提案のあるルートについて、期限を設け、利用者の動向を実際に調べるための実証実験を行うべきと考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(3) 平成17年にまとめられた「流山市公共交通体系策定調査」について以下に問う。 ア 本市の公共交通施策は今なお当該調査に基づいているが、この10年の間に、国の法的環境が大きく変化した。この変化は流山市の交通施策にどのように反映されているのか。 イ 「公共交通体系策定調査」をまとめるにあたっては、市民アンケートや策定委員会の中に市民の委員が含まれ、市民の声が反映された。しかし、10年経過して、住民の声と大きなかい離がみられると思うが、現在、市民の声を吸い上げ、反映させるためにどんな策をとっているのか。</p> <p>(4) 地域公共交通の問題は毎回繰り返し、一般質問でとりあげられている。行政が認識する以上に、流山市民にとって大きな問題であると考え、市長の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市内の総合交通体系について</p>	<p>(1) 国土交通省交通政策審議会の答申が平成 28 年 4 月 20 日に発表され、「つくばエクスプレスの東京駅延伸」が明記された。そこで以下 2 点について問う。 ア 当局は今回の答申をどのようにみるのか。 イ 今回の答申に基づき当市は具体的にどのような取り組みを行うのか。また当市の財政負担などについて試算を行うべきだと思うがどうか。</p> <p>(2)(仮称)三郷流山橋に関して以下 2 点について問う。 ア 事業の進捗状況と今後の見通しはどうか。また同事業を進める中で生じている課題と将来的な課題としてはどのようなものが考えられるのか。</p>
<p>2 地域主権改革について</p>	<p>(1) 地域主権改革の一環である千葉県から県内の市町村への権限移譲に関して以下 2 点について問う。 ア 千葉県内での旅券発給業務については今年度県内 7 市で実施されるとの発表があった。早期段階から要望を出してきた当市が該当しなかった理由は何か。また今後の見通しについても問う。 イ 過去に提言した N P O 設立認証等事務、選挙事務の移譲に向けた取り組みについて問う。</p>
<p>3 開発行為に係る課題について</p>	<p>(1) 既成市街地における開発行為を行う際、周辺地域の方々との調和は必要不可欠である。とくに住環境が脅かされる恐れがある場合には、住民、開発業者、行政は「互譲の精神」に従い、理性のある解決が期待される。その際、行政は住民、開発業者に対してどのような働きかけや指導を行っているのか。</p>

質問事項	要 旨
1 保育行政について	<p>(1) 保育問題が重大課題となっている。問題の1つは「認可保育所が足りない」、2つは「保育士の労働条件が劣悪なため保育士が不足している」と言われているが、流山市の問題の所在はどこにあるととらえているか。</p> <p>(2) 公立保育園の定員に対して現在の入所児童数は何人か。また定員に満たない公立保育所があるがその原因は何か。</p> <p>(3) 保育問題の課題を解決するために、流山市が率先して公立保育所の充実と増設をすべきではないか。</p>
2 住宅問題について	<p>(1) 千葉県は県内の地震被害想定を8年ぶりに見直し公表した。平成28年熊本地震を教訓に、急ぎ市民の住まいの確保が求められている。県営住宅と市営住宅等の新增設をすべきではないか。</p> <p>(2) 市営住宅施行規則の減免対象者の減免世帯実数を問う。</p> <p>(3) 市営住宅の減免制度は改善が必要ではないか。</p>
3 八木南地区コミュニティ・ホームについて	<p>(1) 八木南地区コミュニティ・ホーム問題の取り組みについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市防災計画について</p>	<p>(1) 流山市の重要政策として防災対策が位置付けられるべきだと思いが、市長の見解を問う。</p> <p>(2) 平成 28 年熊本地震の教訓の一つとして、避難が長期化する事への対応がある。流山市地域防災計画は、こういう場合を想定しているか。また、避難所として学校を利用する場合に、避難が長期化した場合の想定があるか。</p> <p>(3) 住民自治会等の自主的避難訓練から、どのような課題と教訓が明らかになったと把握しているか。</p> <p>(4) 流山市の地域防災計画は、女性の意見や要望がどう反映されているか。</p>
<p>2 高齢者の「働きたい」という要望に応えた施策について</p>	<p>(1) 平成 28 年 5 月 20 日に閣議決定された「高齢社会白書」をどう受け止めたか。</p> <p>(2) 豊かな知識や経験をもつ高齢者の間で「何歳になっても働きたい」という要望が増えている事に対応した施策について問う。</p> <p>(3) 公益社団法人「流山市シルバー人材センター」への市の評価と位置付けについて問う。</p> <p>(4) 平成 28 年 5 月 11 日号の広報ながれやまに掲載された「シニアのための仕事説明会」「セブンイレブンで豊富な経験を活かしてみませんか」という記事に関して問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢を問う	(1) 震災対策などを理由に「緊急事態条項」を加えるべきとの改憲論について見解を問う。
2 震災対策について	<p>(1) 地域防災計画の見直しにあたっては、平成 28 年熊本地震の被害状況や千葉県が 5 月 19 日に発表した被害想定などを踏まえ、被害想定の見直しも含めた、踏み込んだ論議をすべきではないか。</p> <p>(2) 応急活動、復旧活動における市職員の役割と必要な職員数確保について。また、応急活動における公立保育所などの臨時職員、指定管理者が管理する公共施設で働く職員の役割について</p>
3 介護問題について	<p>(1) 介護保険制度が改定されて 1 年、流山市の介護保険制度はどう変わったか。</p> <p>ア 利用料 2 割負担導入など市民負担増について</p> <p>イ 「新総合事業」の現状について</p> <p>ウ 特別養護老人ホームへの申込みが原則要介護 3 以上とされたことによる影響と待機者解消のための今後の整備方針について</p> <p>(2) 厚生労働省は、福祉用具の貸与、要介護 1、2 の生活援助の「原則自己負担化」等を新たに計画しているが、当局の見解を問う。</p> <p>(3) 医療と介護の連携について</p> <p>ア 医療供給体制の改革で病院から在宅への流れが加速しているが、実態をどう把握しているのか。</p> <p>イ 医療・介護連携事業の実績と今後の課題について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 LGBTなどの性的少数者への対応と施策について</p>	<p>(1) LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)等は民間の調査では人口の7.6%(13人に1人)とされている。性的少数者への社会の理解は一昔前より進んだかに見えるが、誤解や偏見・差別もまだ根強く広がっている。行政もそうした誤解や偏見などを免れているとは言いがたく、その事がLGBTの生きづらさを助長していると言われている。そこでまず、LGBT当事者からも早急な対応の必要が強く指摘されている教育行政における取り組みについて以下の諸点を問う。</p> <p>ア 文部科学省が2015年4月30日に出した通知(「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」)や同省が2016年4月1日に教職員用に作成したパンフレット(「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」)の意義をどのように受けとめているか。</p> <p>イ 同通達やパンフレットを受けてどのような具体的な取り組みが行われてきたか。今後どのような取り組みを行っていく考えか。</p> <p>ウ LGBTへの無理解や偏見が子どものいじめや不登校や自殺の背景の大きな割合を占めていると言われているが、この点への対策をどう考え、また取り組んでいるか。</p> <p>(2) LGBTへの誤解や偏見、社会生活上の不利益を取り除く上で、東京都渋谷区が制定した「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」や同世田谷区の「世田谷区パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」は大きな意義を持っていると考えるがどうか。流山市でもLGBTが生き易く、暮らし易い地域を目指した、効果ある、積極的な施策が求められていると考えるがどうか。</p>
<p>2 流山の消防職場で起きた暴行・虐待事件等について</p>	<p>(1) 消防職場における暴行・虐待事件の調査はどのような体制と方法で行われたのか。管理職が加害者となり、消防長も見逃してしまい、防げなかった事件である。そうである以上、消防内部の調査だけで実態を明らかにすることは困難と考えるべきであり、第三者の目も入れた調査が必要だったのではないか。</p> <p>(2) どのような再発防止策が講じられたのか。それらの対策が有効であるとする根拠は何か。</p> <p>(3) 暴行事件やその前兆であるパワーハラスメントなどを防止するためには、市の職場全体について、業務の量や内容、それに必要な人員数、業務における職員間の協力関係などの分析と、それを踏まえた業務の適正化、無理の生じない人員数の確保、協力関係や人間関係の円滑化の方策が求められていると考えるがどうか。</p> <p>(4) 今回の事件の大きな教訓は、職員が臆せずものを言える職場、それを聞いてもらえる職場、民主的な職場づくりの重要性を明らかにしたことにあると考えるがどうか。</p> <p>(5) 市の最高責任者であり、任命権者でもある市長の責任は極めて重いとするがどうか。その重い責任に照らして、市長自らへのペナルティとともに、合わせて市長が先頭に立って暴行・暴力・虐待・パワーハラスメント等を再発させない強い決意と姿勢を打ち出す必要があると考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 おおたかの森小中学校の開校 1 年から見えた諸課題について</p>	<p>(1)おおたかの森小中学校は開校から 1 年が経過し、春夏秋冬の季節を一周した今、エアコンの設置について再度検討すべきと考え、以下 2 点について問う。</p> <p>ア 一部の保護者から、夏の風の強い日には外壁に設置した連続した折れ戸が、風にあおられるため閉められ、暑かったと聞いているが、そのような報告、認識はあるのか。</p> <p>イ 冬の時期、コンセプトである風の通り抜けにより室温が低い時にはどのような対応策をとっているのか。</p> <p>(2)おおたかの森中学校の校庭が本年 4 月から校庭開放された。グラウンドが減っている今、スポーツを楽しむ市民にとっては喜ばしいことだが、対応できる駐車場が 3 台分しかないという課題がある。現在、2 団体しか登録されていないのは駐車場の問題であり、駐車場の確保に関して当局の見解を問う。</p>
<p>2 防災対策と危機管理について</p>	<p>(1)首都圏直下型の震災が発生した場合、行政と自主防災組織との連携が重要となる。災害発生後、情報の収集や市民への伝達方法は、流山市地域防災計画等に記載されているが、現実的に停電や携帯電話がつながりにくくなり、情報伝達や連絡が取りにくくなると思われる。特に、自主防災組織との連携が重要であり、防災行政無線の他にどのような対応を考えているのか。</p> <p>(2)首都圏直下型の震災が発生した場合、流山市民への対応はもとより、首都圏、湾岸沿線等地域で被災された方々の受け入れ要請も考えられる。被災された方々の受け入れ体制はどのように考えているのか当局の見解を問う。</p>
<p>3 大堀川 1 号雨水幹線整備事業について</p>	<p>(1)大堀川 1 号雨水幹線整備事業は、平成 28 年度に実施設計を行い、順次整備されると認識している。美田地区には、桜並木と環境用水路の心やすまる景観があるが、大堀川 1 号雨水幹線の完成後には、環境用水路のせせらぎがなくなる可能性がある。当局の認識と対応策について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 消防署内におけるパワーハラスメントについて副市長に問う	(1) 総括と再発防止について
2 震災対策について	(1) 災害救助法による救助の程度、方法及び期間並びに実費弁償の基準の一部改正が、平成 27 年 4 月 1 日から適用されているが、本市計画への反映について (2) 市役所・消防各署など災害時の拠点施設における窓ガラス飛散防止及び棚等の転倒防止策の徹底について (3) 災害発生後の応急仮設住宅の確保策や住宅再建に向けた取り組みについて (4) ペットと同伴できる避難所や発達障害等を有する方と家族が安心できる避難所について
3 つくばエクスプレス及び沿線巨大開発について	(1) つくばエクスプレスの延伸について (2) 運動公園周辺地区について (3) 流山おおたかの森駅北口の市有地活用策について
4 教育行政について	(1) 老朽校舎の対策について (2) おおたかの森小中学校のエアコン設置について